

秋田県秋田市

【計画期間 平成29年4月～34年3月】

・戦国時代に土崎湊が三津七湊(重要な港の総称)に名を連ね、全国有数の港町として栄えた。
 ・佐竹氏により久保田城築城後、城下町は政治・物流の拠点として繁栄。明治以降、県庁所在地となり引き続き拠点都市の機能を担ってきた。
 ・平成17年に旧河辺町、旧雄和町が合併 人口315,814人(平成27年国勢調査) 面積906.07Km²

【前計画の概要】

○千秋公園(久保田城跡)と連携した多機能集客ゾーン(商業、医療、福祉、文化等)を形成し、生活しやすく賑わいのある中心市街地づくりを目指す。(平成20年7月～平成26年6月)

【中心市街地の変化】

- 中通一丁目地区市街地再開発事業や循環バスの整備により休日に街なかを訪れる新たな人の流れができた。
- 歩行者・自転車通行量が増加した一方で、大型商業施設の閉店等により中心市街地の商業機能が縮小している。
- 中心市街地の空き店舗は減少したが、マンションや駐車場に転用され、商店街の空洞化の要因になっている。

○新計画では芸術文化施設間の連携や空きビル・空き店舗、低未利用地の活用を促進することで、更なる活性化を目指す。

【目指す中心市街地像】

千秋公園(久保田城跡)と連携した城下町ルネッサンス(中心市街地再生)～新たな市民文化を育む 多世代が交流するにぎわい拠点の形成～

【前計画目標】

目 標	目 標 指 標	基準値 (H19)	目標値 (H25)	実績値 (H25)
訪れる人による賑わいづくり	歩行者・自転車通行量(平日)	31,157人	42,000人	46,282人
住む人による賑わいづくり	定住人口	3,381人	3,600人	3,579人
商店街の活力による賑わいづくり	小売業年間商品販売額	522.4億円	610億円	409.9億円
	空き店舗数	25店	7店	5店

【新計画目標】

目 標	目 標 指 標	基準値	目標値
行きたい街	歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)	32,484人(H28)	35,000人(H33)
	芸術文化施設利用者数(1日当たり)	966人/日(H27)	1,530人/日(H33)
住みたい街	中心市街地における人口の社会増加数(累計)	26人(H24-H28)	240人(H29-H33)
活力ある街	商業集積促進関連制度利用件数(累計)	34件(H23-H27)	50件(H29-H33)
	市民活動等施設利用件数	20,196件(H27)	20,800件(H33)

行きたい街

【主要事業】

- ・県・市連携文化施設整備事業
- ・旧秋田魁新報社跡地への商業施設整備
- ・(仮称)芸術文化ゾーン連携事業
- ・コミュニティサイクル導入調査事業

など

住みたい街

【主要事業】

- ・まちなか居住推進事業
- ・日本版CCRC事業
- ・住宅リフォーム支援事業

など

活力ある街

【主要事業】

- ・(仮称)芸術文化交流施設整備事業
- ・中心市街地商業集積促進補助制度
- ・(仮称)秋田駅周辺JR用地都市機能立地推進事業
- ・大型商業施設のリニューアル

など

秋田市中心市街地活性化基本計画の事業概要

行きたい街

①県・市連携文化施設整備事業

県と市が連携し、老朽化が進んでいる県民会館及び秋田市文化会館の機能を集約した県民・市民の芸術文化活動の拠点となる文化施設を整備する。



②旧秋田魁新報社跡地への商業施設整備

隣接する商業施設と一体化するような歩行空間を形成するなど、商店街の核となるようなコンパクトな商業施設等を整備し、にぎわいの創出を促す。



③(仮称)芸術文化ゾーン連携事業

(仮称)芸術文化交流施設や県・市連携文化施設、既存の芸術文化施設等で構成する「芸術文化ゾーン」において、(仮称)あきた芸術祭等の連携事業を実施することで芸術文化におけるまちおこしと新たなまちの魅力向上を図る。

活力ある街

⑥(仮称)芸術文化交流施設整備事業

旧県立美術館を活用し、多世代にわたる市民が創造・発信できる多様な活動の場の創出を図る。



⑦中心市街地商業集積促進補助制度

中心市街地への新たな出店に対し、改装費や賃借料等の一部を補助することで魅力ある商店街の形成と地域経済の活性化を図る。

⑧(仮称)秋田駅周辺JR用地都市機能立地推進事業

商業施設、駐車施設の拡充、駅施設のリニューアル等を行い、交流人口の拡大や来街者・就業者の増加による活性化を図る。

⑨大型商業施設のリニューアル

大型商業施設のリニューアルにより、集客力を高め、商業の活性化や若者を中心としたにぎわい創出を図る。

住みたい街

④まちなか居住推進事業

空き家の改修に必要な工事費の一部を支援することでその利活用を促し、既存ストックを活用した居住人口の拡大を図る。



⑤日本版CCRC事業

地域社会との連携や医療介護ケアなど秋田市におけるCCRCのモデルとなるような共同住宅を整備し、健康な中高齢者の中心市街地への居住を促す。

